

# かみくげ 恐竜の里新聞

令和5年10月20日 発行：上久下恐竜の里づくり部会

第149号  
上久下地域  
自治協議会  
0795-78-0001

## 地区体育大会を5年振り開催

9月17日に上久下小学校を会場にして、真夏を思わせるような好天のもとで5年振りに地区体育大会が開催されました。8時30分から小学校の運動会がスタート。徒走、玉入れ、応援合戦、リレー、表現演技など児童が一所懸命に取り組む姿を、保護者らは感動しながら見守っていました。午後からの地区体育大会には約400人が参加して、自治会対抗の得点競技を中心に実施されました。大縄飛びから始まり玉入れまでの6種目がおこなわれ、出場選手も応援する側も、4年間のブランクを吹き飛ばすような熱の入りで、賑やかに開催できて良かったと思います。総合優勝は上滝自治会、準優勝は畑内自治会という結果になりました。野垣克己大会長の挨拶の中で「体育大会は親睦の場でもあります。久しぶりに会う人たちと旧交を深めて下さい」とありましたが、懐かしい顔を見て話が弾む場面がありました。地区体育大会を再開するに当たり「選手集めが大変だ」という声を受け、体育振興会役員を中心に会議を重ねて、年齢制限を下げたり選手数を減らしたりと改善してもらいました。市内で地区の体育大会を実施したのは竹田と上久下だけだったようですが、工夫次第で開催は可能であり、地域住民の親睦を図れる機会を作れると感じました。余談ですが、大半の自治会は慰労会を開催されたようで、大いに盛り上がったと聞いています。



大縄跳びは北太田が1位



久下競輪は北太田が1位(得点無し)



小学校の開会式にも自治会役員らが参加



綱引きでは上滝が圧勝



240歳リレーは青田が1位



グランドゴルフは畑内が1位



みんなで玉入れは上滝が1位



水入れ競争は太田が1位

## 小学校のグランド整備

体育大会を前にして、小学校のグランド整備が8月26日に実施されました。学校とPTAだけでは手が足りないため、昨年からの地域の方々にも協力してもらったことになり、今年も総勢150人以上が集まってグランドの草引きに汗を流しました。八尾滋樹校長からは「暑いなか皆さまには大変お世話になりました。これで安心して運動会を開催することができま



思い思いの道具を持って草引き作業



檜皮包丁で檜皮を綴る体験

## 3～5年生の檜皮葺き学習

上久下小学校の3～5年生が毎年実施している檜皮葺き学習が、9月27日に篠場の文化財の森センターでありました。今年は檜の原皮を屋根葺きに見えるようにする「檜皮整形」を学ぶ順番で、檜皮を一定の厚さにする「洗皮(あらいかわ)」と、細長い台形に仕上げる「綴皮(つづりかわ)」の作業を体験しました。児童たちは職人さんに教わりながら、恐る恐る檜皮包丁で皮を剥いたり綴ったりしていました。3年間で檜皮葺きの流れが分かるようになる学習で、この中の一人でも檜皮職人が誕生すればいいなと願うひとときでした。



# 檜皮葺あずまや完成式 盛大に開催

令和3年10月に東屋一基を建ててから足掛け三年間に渡り、丹波竜の里公園を訪れた人たちに屋根を檜皮で葺いてもらうワークショップを14日間開催して、二基の東屋が遂に完成しました。檜皮葺を体験した人は延べ170人以上、足場に登って見学した人を含めると200人を超えると思います。この一大プロジェクトが一応終了したことを記念し、上久下地域自治協議会は10月14日に丹波竜の里公園を会場にして「檜皮葺あずまや完成式」を開催しました。当日は檜皮葺ワークショップ体験者を中心に約100人の招待者らが会場に集まり、東屋の工程説明、檜皮葺解説、除幕式、久寿玉開披などの式典を観覧してもらいました。招待者には受付で手作りフォトスタンドなどの記念品が渡され、ワークショップに殆ど毎回参加するほど檜皮葺が大好きな藤本悠光君には、感謝状と名前入り屋根金鍔が贈呈されました。また会場には2つの屋根がハート型に見える場所に特設檜が設置され、多くの方が上空からの写真撮影にチャレンジしていました。式典終了後には、神崎博之さんを中心にしたグループによる野外コンサートが開かれ、キッチンカーや元氣村かみくげの出店もあり、地元の方々にも秋の一日を楽しんでもらえたと思います。今回参加できなかった方も、時間の空いた時に丹波竜の里公園へぜひ立ち寄って下さい。東屋の木製ベンチで休憩したり、恐竜スライダーの頂上付近からハート型の屋根を撮影して、SNSで拡散してもらいたいと思っています。尚、この事業は丹波県民局「地域再生活動の次世代への承継事業」補助金と、丹波市「活躍市民によるまちづくり事

業」応援補助金を活用して実施しました。



神崎博之さんグループの野外コンサート



ハート型のあずまやの屋根が出現！！



ワークショップ最多参加表彰の藤本悠光君



来賓と野垣会長らで久寿玉の開披



印刷室に置かれた高速印刷機



事務所内に設置された長尺プリンター

上久下地域自治協議会は「宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業」に応募して、地域づくりセンターの長尺プリンターと高速印刷機を「宝くじの助成金で整備」しました。長尺プリンターは3年前に故障して使えなくなり、イベント時の横断幕や立て看板作りでは他所のプリンターを借りるなど、苦勞していたのが解消されることとなりました。また高速印刷機も老朽化が進み、自治会の総会資料印刷時等に紙詰まりなどのトラブルが多発してご迷惑を掛けていましたが、最新型に更新できたことで印刷がスムーズにできるようになりました。

# 宝くじの助成金で 事務機器の整備

# 3・4年生が案内看板作り

上久下小学校の3・4年生が、9月4日に地域づくりセンターで案内看板作りをしました。丹波竜発見現場展望広場にある化石産状レプリカが、壁の裏側にあつて目立たないことを気にしていた村上茂さんから提案を受け、地域学習の一環として作成に取り組みことになったものです。児童が考えたデザインにみんなでペンキを塗って仕上げ、10月初旬に現地で取付けを行いました。発見現場を訪れた人たちが看板に誘導され、化石産状レプリカを見てもらえる機会が増えると思います。



ペンキで丁寧に色付け



カラフルで良く目立っています



壁横に取付けられた看板

# 11月の予定

- ◆ 11月10日(金) 恐竜の里づくり部会 午後7時30分
- ◆ 11月16日(木) 自治会長会 午後7時30分
- ◆ 11月18日(土) 地域づくりセンター清掃 (上滝) 午前9時
- ◆ 11月14日(火)・28日(火) 恐竜時計台のカフェ 午前10時